

### 第3回 若手研究者アンサンブルワークショップを開催しました (2017/7/3)

テーマ：附置研究所・センター連携，受賞

場 所：東北大学災害科学国際研究所（仙台市青葉区）

URL：<http://web.tohoku.ac.jp/aric/index.html>

7月3日（月）災害科学国際研究所にて，東北大学附置研究所・センター連携体が主催する「第3回若手研究者アンサンブルワークショップ」を開催しました。研究所若手アンサンブルプロジェクトは、本学の附置研究所・センターの連携による研究活動の活発化の一環として行われております。今回のワークショップは、「どの研究科・研究所で，どのような研究が行われており，どんな人がいるのか紹介しあって，ひらめきや刺激の機会を提供する」ことを目的に開催しました。当研究所からは以下7件の研究発表があり，寅屋敷哲也助教（人間・社会対応研究部門）と牧野嶋文泰氏（東北大学工学研究科）が優秀ポスター賞を受賞しました。ワークショップではラボツアーも同時に開催され，岡田真介助教（災害理学研究部門）による災害科学国際研究所の研究紹介が行われました。また，今野明咲香助教（災害理学研究部門）が準備段階から運営に携わりました。ワークショップ後の懇親会でも，アンサンブルプロジェクトらしい和やかな雰囲気の中で交流がなされ，部局間の共同研究に対する研究費支援「平成29年研究所若手アンサンブルグラント」への応募に向けて積極的に情報交換が行われました。今回のワークショップを通して，運営側としては部局間での共同研究の必要性を改めて感じ，研究のさらなる進展に貢献すべく研究所・センターさらには研究科との連携をサポートし，より充実した体制を構築していきたいと思っております。参加者は100名を超え，発表件数71件と盛況のうちに終了できましたこと，ご参加いただきました皆様に感謝申し上げます。

#### 【災害科学国際研究所からの研究発表】

岡田 真介 助教（災害理学研究部門）：仙台平野の伏在活断層の分布と連続性

寅屋敷 哲也 助教（人間・社会対応研究部門）：災害時の企業による支援物資の供給方法の研究

山下 啓 助教（寄附研究部門）：藻場の津波リスク評価研究

安田 容子 研究員（人間・社会対応研究部門）：災害後の地域美術資料の活用に関する研究

David Nguyen（工学研究科 D3）：Tourism Destination Safety: Improving disaster resiliency through collaborative planning

牧野嶋 文泰（工学研究科 D2）：津波避難行動の数値的評価モデルとその社会実装に関する研究

渡部 真史（工学研究科 D2）：土砂移動シミュレーションによる津波・高波堆積物の識別



会場の様子



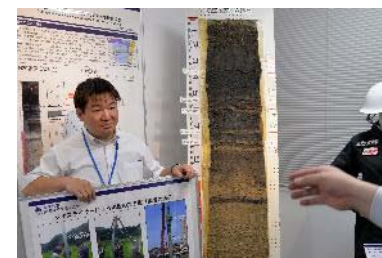
今村所長から表彰状授与  
（寅屋敷助教）



今村所長から表彰状授与  
（牧野嶋氏）



ポスター会場



ラボツアー参加者に説明する  
岡田助教



懇親会の様子



文責：今野明咲香（災害理学研究部門）